

# 日本天文学会 1998 年春季年会プログラム

場 所 東京都立大学 (案内図参照)  
 東京都八王子市南大沢 1-1  
 電 話 0426-77-3981 FAX 0426-77-3982

## 日 程

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
3月16日 (月)	A	太陽系			教育 / 位置		ポ ス タ ー (前)	天文教育 フォーラム	LMSA 特別セッ ション		
	B	恒 星			恒 星						
	C	星形成			星形成						
	D	銀 河			銀 河						
	E	地上観			地上観						
3月17日 (火)	A	天力 / 情報	ポ ス タ ー (前)	評 議 員 会	太 陽		ポ ス タ ー (後)	研究奨励賞 受賞記念講演	総 会	懇 親 会	
	B	恒 星			恒 星						
	C	星形成			星形成 / 星間						
	D	銀 河			銀河 / 銀河核						
	E	地上観 / 銀河団			銀河団						
3月18日 (水)	A	太 陽	ポ ス タ ー (後)	理 事 会	太 陽						
	B	恒星 / 飛翔観			飛翔観						
	C	星 間			星 間						
	D	銀河核			銀河核						
	E	銀河団 / 宇宙論			宇宙論						

A 会場：教養部教室棟 320                      B 会場：教養部教室棟 310                      C 会場：教養部教室棟 220  
 D 会場：教養部教室棟 230                      E 会場：教養部教室棟 240                      ポスター会場：学生部棟

講演数 合計 371    うち、口頭 (10分) : 234、口頭 (3分) + ポスター : 137

参加費：3,000 円 (正会員の学生 2,000 円)

講演登録料：3,000 円 (1 講演を越えた講演数に対して)

予稿集頒布価格：2,000 円

※参加費・講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

### ◎講演に関する注意

1. 口頭講演は 5 会場で行われます。口頭 (10 分) 発表 (添字 a) は講演 10 分、質疑応答 5 分です。口頭 (3 分) 発表 (添字 b) の質疑応答は講演時間中にはありません。プログラムは 15 分を単位として行われます。口頭 (3 分) は 4 講演で 15 分を割り当て、座長の判断でまとめて質疑応答を行います。

※時間厳守：講演時間制限を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b) は会期の前半と後半で交代となります。自分の発表時間帯をプログラムで確認して下さい。前半の方は、初日 9 時から第 2 日目正午までが発表時間です。正午までに撤去して下さい。後半の方は第 2 日目正午から最終日午後 3 時まで発表できます。ポスターは縦 180 × 横 90cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に指定された期間掲示し、終了後は速やかに撤去して下さい。
3. 講演には OHP をご使用下さい。
4. 用意しますビデオは VHS 方式です。詳しくは当日会場にてご案内いたします。

## ◎会期中の行事

- |                 |       |             |      |
|-----------------|-------|-------------|------|
| 1. 天文教育フォーラム    | : 1日目 | 16:00～17:30 | B会場  |
| 2. LMSA 特別セッション | : 1日目 | 17:30～19:00 | D会場  |
| 3. 評議員会         | : 2日目 | 12:00～13:00 | 91年館 |
| 4. 研究奨励賞受賞記念講演  | : 2日目 | 16:00～16:30 | D会場  |
| 5. 総会           | : 2日目 | 16:30～18:00 | D会場  |

主な議題 = 1997年度会務報告

1997年度収支決算報告、監査報告

新評議員候補者

- |        |       |             |      |
|--------|-------|-------------|------|
| 6. 懇親会 | : 2日目 | 18:00～20:00 | 生協食堂 |
| 7. 理事会 | : 3日目 | 12:00～13:00 | 91年館 |

なお、LMSAの特別セッションは、天文学界の将来に大きく影響する問題について、全体で議論をする機会を持つために設けられた追加のセッションで、今回の年会に限り臨時措置として設けられたものです。

## ◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

日時：1998年3月16日（月） 16:00～17:30

場所：B会場

テーマ：『「すばる」に期待する天文普及』

ハワイに建設中の「すばる」望遠鏡が、いよいよ来年の夏に最初のテスト観測（ファーストライト）を行う予定です。「すばる」が本格的な観測態勢に入れば、これまで得ることのできなかった様々なデータや画像をとらえ、日本の新しい天文学を切り開くものと期待されます。この天文学の最先端のデータや画像を天文教育に生かさない方はありません。今回はこの「すばる」望遠鏡を天文教育にどのように活用するか、また、活用できるかについて、様々な立場から意見を述べてもらい、議論してみたいと思います。

### <話題提供>

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 『「すばる」で実現する天文学の普及』 | 海部 宣男（国立天文台）        |
| 2. 『主婦が夢見る「すばる」』      | 飯塚 礼子（海老名天文同好会）     |
| 3. 『「すばる」に期待するもの』     | 伊東 昌市（杉並区立科学教育センター） |
| 4. 『教室に届くか？「すばる」の画像』  | 大金要次郎（東京都立小山台高等学校）  |

実行委員

鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高等学校）、小山 浩（杉並区立井荻小学校）

沢 武文（愛知教育大学）、縣 秀彦（東京大学教育学部附属中・高等学校）

☆当フォーラムに関するご要望、ご意見などは上記の実行委員までお申し出ください。

## ◎日本天文学会公開講演会 「宇宙観測の最前線」

日時：1998年3月15日（日） 14:00～16:30

場所：東京都立大学・講堂小ホール

「21世紀の観測天文学：私たちは宇宙を理解できるか？」

講演者 東北大学大学院理学研究科助教授 谷口 義明

「宇宙をX線でのぞく」

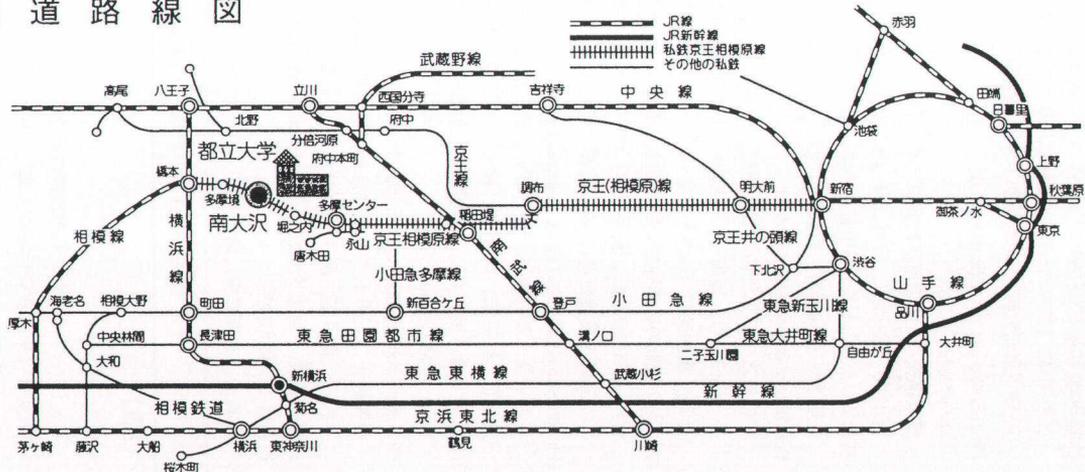
講演者 京都大学大学院理学研究科教授 小山 勝二

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございます。

# 春季天文学会会場（東京都立大学）のご案内

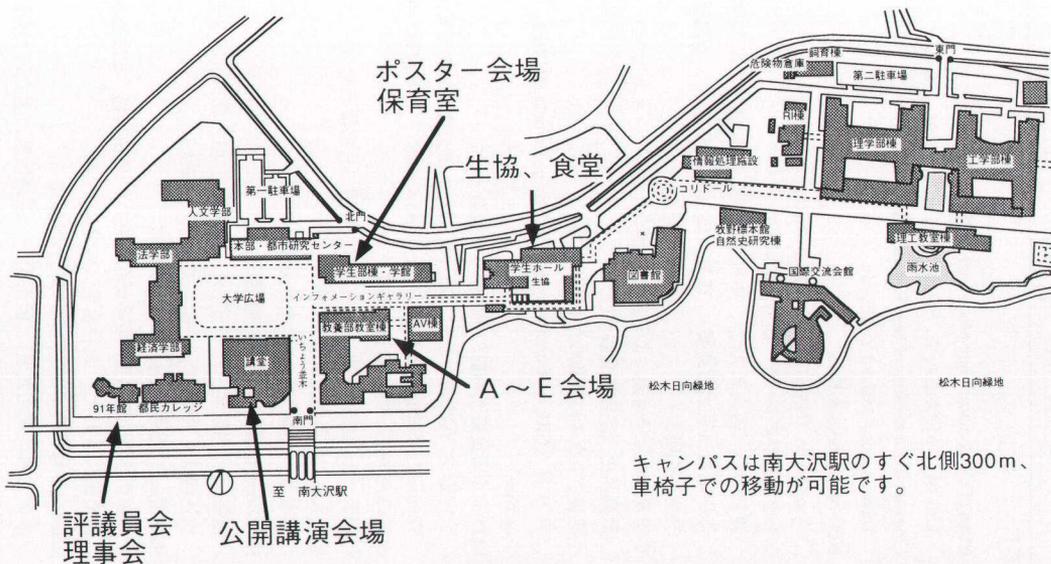
- ◆JR東京駅より新宿にて京王相模原線に乗り換え。約61分
- ◆JR新横浜駅より橋本にて京王相模原線に乗り換え。約38分  
(注；待ち時間・乗り換え時間を含みません)

## 鉄道路線図



京王相模原線「南大沢駅」より、改札を出て右手へ直進、徒歩5分

## 東京都立大学



キャンパスは南大沢駅のすぐ北側300m、  
車椅子での移動が可能です。